

岡山理科大学

経営学部

経営学科



経営が変わる、サイエンスで。

「いま=これから」の経営に必要なのは
情報を収集・分析して、新しい価値を創造する力。私たちは

ビジネス力・企画力

+

データ分析力

+

価値創造力

の3つのチカラをもった人材を育てます。

2017年4月開設

<http://www.mgt.ous.ac.jp>



ENJOY SCIENCE!

ボクラ、科学の子。

岡山理科大学
OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

マーケティングやデータサイエンスを学び、企業とコラボして問題を解決する力を養う

特徴①

3つの専門領域



ビジネスにおいて新しい価値を創造できる人材になるために、これからは**マーケティング+データサイエンス**のチカラが絶対に欠かせません。でも、それだけではまだ不十分。なぜ新しい価値が生まれるのか、その背景を見抜くためには、社会をとりまく**制度と文化**の理解も必要です。岡山理科大学経営学部は、「価値」をキーワードに、3つの専門領域から知見を深める、これまでにない経営学部を目指します。



顧客へ魅力ある価値を提供する
マーケティングと戦略

優れた製品やサービスを生み出すためには、顧客がそれらを使用する現場に注目しなければなりません。顧客に魅力的な価値を提案したり、顧客と一緒に価値を創造したりするために必要な理論と実践を学び、「**ビジネス力・企画力**」を習得します。



ビッグデータから新たな価値を見出す
データサイエンスと情報活用

ビッグデータの登場でビジネスや社会のあり方が大きく変化するなか、企業がライバルに先んじて新しい価値を創造するためには、「**データ分析力**」が不可欠です。企業経営の視点に立ったデータの収集、分析、活用方法を実践的に学びます。



新たな価値が生まれる背景を探る
制度と文化

魅力ある商品を提案するためには、ビジネスを取り巻く社会の仕組みについての理解や、人々の嗜好に影響を与える文化についての洞察も必要です。ビジネスを取り巻く社会制度や、日本や東アジアの伝統・文化を学び、新しい価値が生まれる背景を探ります。

特徴②

「いま＝これから」の経営に対応するカリキュラム



カリキュラムのポイント

- 基礎科目で、経営学部の基礎を幅広くしっかりと学びます。
- 1年次から順次始まる専門教育科目で、3つの専門領域の最新の知識と技能を習得します。
- 実践的ビジネス・プログラムと演習科目のアクティブ・ラーニングで、ビジネス実践力を高めます。
- 卒業研究では、4年間の学習や実践的経験の成果をじっくりと卒業論文にまとめあげます。

これらのカリキュラムを修得した後、
「新しい価値を創造する人材」として実社会にデビュー！

さらに経営学を究めたい人は
大学院へ！

1 年 次		2 年 次		3 年 次		4 年 次	
基礎 科 目		専 門 教 育 科 目					
基礎Ⅰ類	商学基礎	マーケティングと戦略	マーケティング論 小売マーケティング	マーケティング戦略／サービスマーケティング サービス経営学／サービス社会システム／まちづくりと商業 商品開発論／消費者行動／マーケティング・コミュニケーション	観光ビジネス マーケティング・リサーチ		
	経営学基礎		企業論／ベンチャービジネス論	経営戦略／経営組織	人的資源管理／リスクマネジメント		
	簿記基礎			簿記原理 ファイナンシャルプランニング／ファイナンス戦略	財務諸表論 金融サービス		
	経済学基礎		ミクロ経済学	マクロ経済学 アジアの産業と市場／国際経済論	国際マーケティング		
基礎Ⅱ類	情報科学基礎	データサイエンスと 情報活用	情報リテラシー	プログラミング基礎／応用プログラミング		卒業研究Ⅰ	
	データ解析基礎		社会調査入門／社会調査法	データ解析システム／行動計量学 経営情報／経営科学	データサイエンス演習 経営システム		
基礎Ⅲ類	社会学基礎	制度と文化	コミュニケーション論	現代のメディア	ジャーナリズム論		
	法学基礎		市民生活と法 公共政策	国際社会と法 経済政策／国際政治学	社会福祉と法 環境政策	卒業研究Ⅱ	
	歴史学基礎		日本の歴史 世界地誌／地理学 地域と伝統	中国の歴史／東南アジアの歴史／歴史資料解析	比較文化論		
	心理学基礎			民俗学／アジアの考古学 社会心理学／現代論理学	現代哲学		
実践型ビジネス・プログラム							
実践キャリア学Ⅰ			実践キャリア学Ⅱ　ビジネス英会話Ⅰ・Ⅱ			情報活用とビジネスライティングⅠ・Ⅱ	
演習科目							
基礎教養ゼミナール			プロジェクト研究		イノベーション・ラボⅠ・Ⅱ		

※赤字は必修

特徴③

学びの実践：企業とコラボする課題解決型ラボ



せっかく新しい知識を習得しても、それを使えるようにならなければ意味がありません。そこで、企業とコラボして現実の問題の解決を図る**課題解決型ラボ**を3年次で実施します。科目名は「**イノベーション・ラボ**」。ここでは、経営学部と連携する企業などからマーケティング担当者を招き、実際に企業で生じている課題を持ち込んでもらい、この課題を企業人・学生・教員が協力しながら解決を図ります。**全く新しい形の産学共同プロジェクト**、それがイノベーション・ラボです。ここでは解決手法はもちろんのこと、社会人に必須なマナーやチームで取り組む姿勢の習得も目指します。

課題解決型ラボの実践例：課題提供元(株)エブリイホーミホールディングス

福山市に本社をおく(株)エブリイホーミホールディングス(以下、エブリイ)から、社会情報学科(経営学部の前身)に、「新たに出店する『エブリイOkanaka津高』と、地域社会との共創・共生が実現するための企画を開発せよ!」との課題が持ち込まれました。この取り組みに参加した103名の学生はいくつかのグループに分かれ、エブリイから派遣された担当者とともに19回にわたるグループワークやディスカッションを行ったのち、最終プレゼンテーションでそれぞれのグループが課題に対する独自の企画案を発表しました。



その結果、フードコートのステージ企画運営案を提案したグループが最優秀賞、フリースペースの利用方法として「1,000坪のエブリイ農園」を提案したグループが優秀賞をそれぞれ獲得しました。そして、優秀賞のこの企画は実際に「エブリイ農園」として敷地内に実現されることとなりました。



課題解決型ラボが目指すのは、こうした企業と学生の協働、協業を通じて、一般的なインターンシップでは体験できない「リアル」なビジネスの現場を学生が体験することにあります。

これまでに行ってきた 課題解決型ラボ	名 称 課題提供元	番組制作ラボ 岡山シティエフエム	ヤマザキランチパックラボ 山崎製パン(株)岡山工場	岡山県ブランディングラボ 岡山県商工労働部
-----------------------	--------------	---------------------	------------------------------	--------------------------

イノベーション・ラボの主なパートナー (2017年4月時点で30企業・機関と提携しています)

【金融】三菱東京UFJ銀行、トマト銀行、日本政策金融公庫【小売・流通】天満屋、はるやま商事、エブリイホーミホールディングス
【メディア】毎日新聞社、山陽新聞社、テレビせとうち 【複合】大日本印刷 【製造】東レ 【サービス】近畿日本ツーリスト、読売旅行
【マーケティング・企画】SC&パートナーズ、読宣【自治体】岡山市役所、新見市役所

特徴④

建物だって最先端！ 経営学部はここでマナブ



2016年3月に竣工したA1号館。地上11階、地下1階の巨大なこの学舎の6～8階が経営学部のフロア。ここには研究室・ゼミ室のほか、課題解決型ラボをはじめとするグループ学習に対応可能な「ラボ室」、そして学生同士の、あるいは学生と教職員間の交流・コミュニケーションを促進する場である「スチューデントコモンズ」などが備わっており、最先端の経営学を学ぶ学生を力強くサポートします。

その他、図書館や自習室、そして理工系大学ならではの最新の情報機器設備もそろっており、学生の学びを支える快適な学習環境が整えられています。



学びの中心、A1号館



演習授業や卒業研究を行うゼミ室



グループ学習に適したラボ室

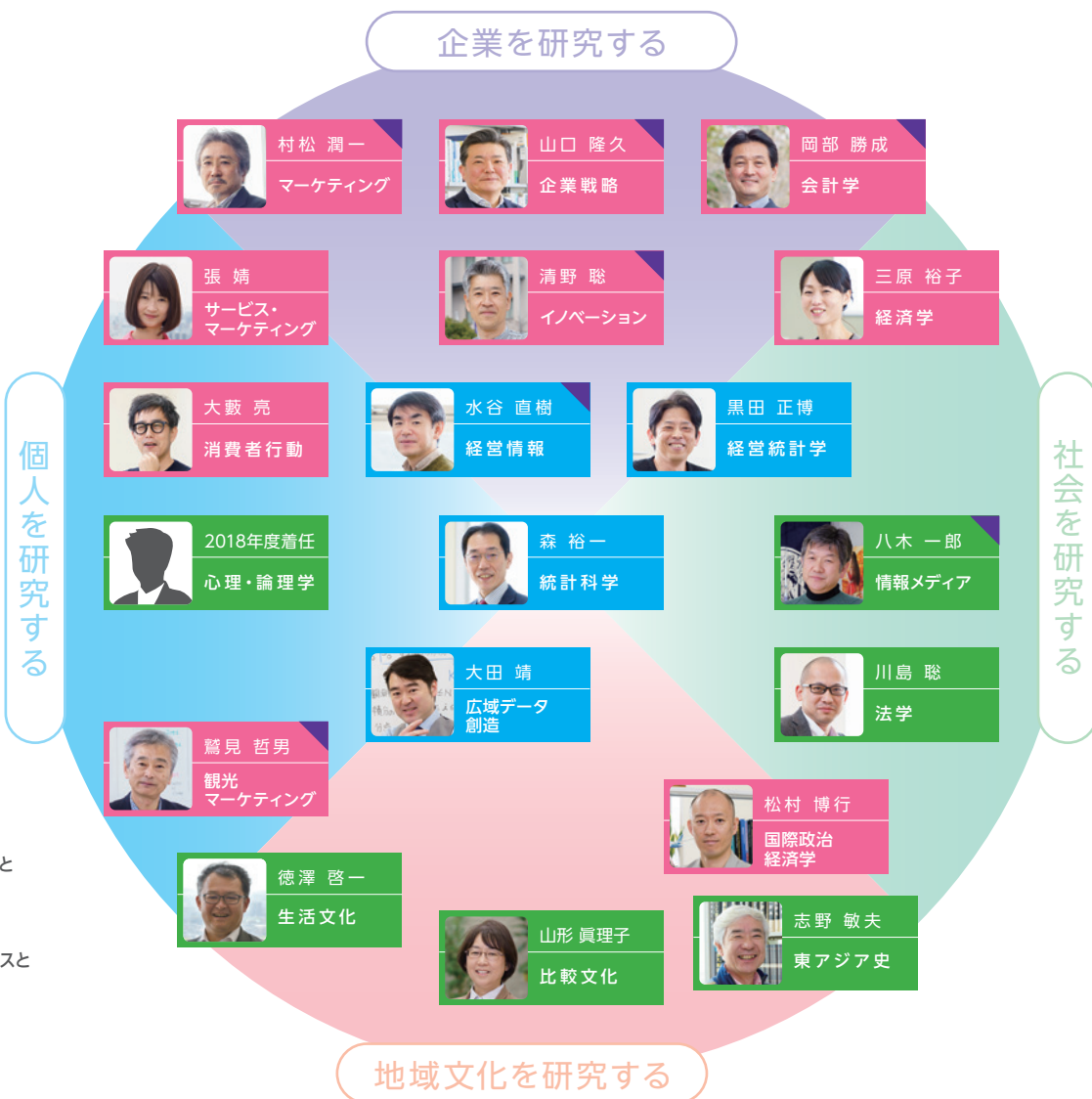


スチューデントコモンズ



ここを
check!

- ▶3つの専門領域が独立しているのではなく、問題解決へのアプローチにおいてすべての教員が密接に連携し、「新しい経営学」に向けて多角的にアプローチする体制がとられています。
- ▶ビジネスの現場を知る実務経験教員(▼)と学術系教員が融合し、理論と実践をバランスよく教育できる環境が実現されています。



マーケティングと
戦略



データサイエンスと
情報活用



制度と文化

おもな就職先・進路 (経営学部の前身である社会情報学科の2014年度～2017年度卒業生の実績)	【就職先】 愛媛銀行／トマト銀行／鳥取銀行／岡三証券／大本組／エス・バイ・エル・カバヤ／東建コーポレーション／三菱化学／大和冷機工業／赤木税理士事務所／岡山木村屋／岡山トヨタ自動車／はるやまホールディングス／イオンリテール／天満屋／山陽保険センター／読宣／システムズナカシマ／農業協同組合(JA)／恩納村役場／笠岡市役所／岡山県教員／岡山県警察／自衛隊 【進学先】 岡山理科大学大学院／香川大学大学院／立命館大学大学院	
取得可能な資格	高等学校教諭一種免許状(公民)／中学校教諭一種免許状(社会)／博物館学芸員資格／社会調査士／ファイナンシャル・プランナー(ファイナンシャル・プランニング技能士)／日商簿記検定／統計検定／ITパスポート など	

入学金・学費等 (年間納付金)	初年次	120 万円 (入学金を含む)
	2 年次以降	114 万円

入学定員	130 名
------	-------

■お問い合わせ先

岡山理科大学 入試広報部

〒700-0005 岡山市北区理大町1-1 TEL (086)256-8412
 [URL] <http://www.ous.ac.jp>
 [e-mail] kouhou@ous.ac.jp

受験生ホットライン ☎ 0800-888-1124
 [フリーコール平日 9:00～17:00]

経営学部HPはこちら ➡



LINE@

友だち募集中!

